

研修名	専門課程 道路交通安全〔歩行者・自転車コース〕 【集合】 (平成 19～22 年度：「道路交通安全」)					
目的・重点事項	<p>歩行者、自転車に配慮した道路空間の高質化に関する専門知識を修得させることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 自転車通行空間整備、バリアフリー、無電柱化に関する専門知識の修得</p> <p>② 歩行者・自転車に配慮した道路空間の高質化に関する専門知識の修得</p> <p>課題研究において、道路管理者及び都道府県警察の職員が協働して、相互の視点を組み合わせて課題を検討することが好評である。</p> <p>※道路交通安全の担当者は、事故対策及び歩行者・自転車対策双方の視点が必要となることが多いため、「事故対策コース」と併せて受講することが望ましいが、それが困難な事情がある場合には、一方のみの受講も可とする。</p>					
対象者	<p>国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県（警察関係を含む）、政令指定都市、特別区、市の職員で、道路における交通安全対策に関する業務（交通規制業務を含む）を担当し、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 係長、専門官、専門員又はこれと同等の職にあると認められる者</p> <p>② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者</p>					
定員(人)	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	16	1	23			40
研修期間	30.5時間 5日間			令和5年 9月 4日(月)～ 令和5年 9月 8日(金)		
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義(12.0)</p> <p>① これからの道路空間のあり方</p> <p>② 最近の自転車施策について、自転車から見た道路交通法、自転車計画の策定、自転車利用の推進</p> <p>③ バリアフリー・無電柱化の取組 道路の移動等円滑化整備ガイドラインの思想・背景等</p> <p>2. 課題研究(12.5) (昨年度テーマ：自転車通行空間整備のための合意形成等について)</p> <p>3. 現場見学(4.0) (昨年度：自転車通行空間整備箇所(国道14号 江東区亀戸地区 他))</p> <p>4. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 30.5</p>					
前年度からの 主な変更点						
担当	建設部 建設技術研修分析官 (TEL: 042-321-0645)					
備考	テキスト代(予定)10,000円 現場実習費(移動交通費)(予定)1,800円					